



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 武蔵野興業株式会社
 コード番号 9635 URL <http://www.musashino-k.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 義勝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎 雄司
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3352-1439

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 786 | 17.8 | 15 | 90.4 | 36 | 78.8 | 21 | 82.3 |
| 2019年3月期第2四半期 | 957 | 17.2 | 159 | 649.9 | 171 | 592.2 | 121 | 651.7 |

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 21百万円 (82.5%) 2019年3月期第2四半期 121百万円 (612.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 20.45 | |
| 2019年3月期第2四半期 | 115.77 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 6,405 | 3,774 | 58.9 | 3,607.28 |
| 2019年3月期 | 6,466 | 3,753 | 58.0 | 3,587.01 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,774百万円 2019年3月期 3,753百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 2020年3月期 | | 0.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,570 | 7.0 | 20 | 85.6 | 40 | 75.3 | 20 | 83.6 | 19.11 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年3月期2Q | 1,050,000 株 | 2019年3月期 | 1,050,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年3月期2Q | 3,551 株 | 2019年3月期 | 3,546 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年3月期2Q | 1,046,452 株 | 2019年3月期2Q | 1,046,481 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、インバウンド需要等により内需は概ね堅調に推移したものの、海外経済の減速や消費増税が国内経済に与える影響への懸念等から、先行きについては引き続き不透明な状況となっております。このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、映画事業部門は、「武蔵野館」「シネマカリテ」におけるバラエティに富んだ多くの作品の上映に加え、「シネマカリテ」における映画祭の開催や「武蔵野館」100周年記念事業として特別上映を行うなど、話題を提供してまいりましたが、イベント開催による費用の増加や興行成績の伸び悩みもあり、セグメント損失を計上することとなりました。不動産事業部門は、テナントビルの状況等に大きな変化はなく営業成績は安定的に推移し、また自動車教習事業部門は、学生を中心とした自動車運転免許の取得需要が落ち込む時期ではあるものの、販売費および一般管理費の減少等により前年同期を上回る営業利益を確保いたしました。その結果、全体として売上高は7億8千6百万円（前年同期比17.8%減）、営業利益は1千5百万円（前年同期比90.4%減）、経常利益は3千6百万円（前年同期比78.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2千1百万円（前年同期比82.3%減）となりました。なお、2019年3月期は不動産投資に係る一時的な収入を売上高に計上したため、対前年同期比は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも減少しております。

当第2四半期連結累計期間のセグメント情報ごとの業績の状況は以下の通りであります。

（「生産、受注及び販売の状況」については当社は映画興行や不動産賃貸業を中心に業態を形成しており、受注・販売形式の営業活動は行っておりません。販売の状況については下記セグメント別の状況をご参照ください。）

（映画事業部門）

「武蔵野館」「シネマカリテ」における『存在のない子供たち』『火口のふたり』『ラスト・ムービースター』『カーマイン・ストリート・ギター』等の話題作の上映に加え、「シネマカリテ」では、映画祭『カリテ・ファンタスティック！シネマコレクション[®]（通称「カリコレ[®]）」』を開催し、多くの新作・日本未公開作をはじめとした個性豊かな作品を上映し好評を博しました。また、「武蔵野館」100周年記念事業として、月ごとにテーマを設けて関連する名作を上映するなど話題を提供してまいりましたが、全体的に映画興行収入は伸び悩みました。その結果、部門全体の売上高は3億3百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント損失は、各種イベントの開催に伴う広告宣伝費等諸経費の増加があったものの、映画配給関連事業に係る営業費用が減少したこともあり、1千1百万円（前年同期は3千2百万円のセグメント損失）となりました。

（不動産事業部門）

賃貸部門におきましては、不動産管理業務および主要テナントビルの賃貸状況は大きな変化はなかったものの、主要テナントビルの設備の更新等に係る減価償却費の増加があり、営業成績は前年同期を下回りました。販売部門は、関連業者等との連絡を密にし取引の機会を窺っているものの、具体的な営業成績の計上には至っておりません。その結果、部門全体の売上高は2億8千6百万円（前年同期比34.4%減）、セグメント利益は1億6千9百万円（前年同期比48.2%減）となりました。なお、2019年3月期は不動産投資に係る一時的な収入を売上高に計上したことを大きな理由とし、対前年同期比は、売上高、セグメント利益のいずれも減少しております。

（自動車教習事業部門）

学生を中心とした運転免許取得需要も一段落し、新規教習生の入所者数が減少する時期ではあるものの、車種別に多様な教習プランを用意し、営業成績の維持に努めました。その結果、部門全体の売上高は1億5千4百万円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益は販売費および一般管理費の減少等により2千5百万円（前年同期比77.4%増）となりました。

（商事事業部門）

東京都目黒区において経営委託している飲食店は、メインキャラクターに関連するグッズの販売や各種イベント等の開催により集客をはかりましたが、不安定な天候の影響等もあり、営業成績は前年同期を下回りました。その結果、部門全体の売上高は3千8百万円（前年同期比9.7%減）、セグメント利益は3百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

（その他）

主としてマクミラン・アリスの著作権料収入や自販機手数料であります。部門全体の売上高は3百万円（前年同期比8.5%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、有利子負債の返済等による現金及び預金の減少や減価償却による有形固定資産の減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ6千1百万円減の64億5百万円となりました。

負債合計は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少や有利子負債の返済による長期借入金の減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ8千2百万円減の26億3千万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2千1百万円増の37億7千4百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当第2四半期連結累計期間に、営業活動において5百万円の資金を得て、投資活動において4百万円、財務活動において4千4百万円の資金を使用した結果、前第2四半期連結会計期間末に比べ、3千4百万円減少の6億9千7百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動によって得られた資金は、税金等調整前四半期純利益3千2百万円や減価償却費5千5百万円等があった一方、持分法による投資利益1千2百万円、法人税等の支払額4千4百万円等があったことにより、5百万円（前年同期比96.7%減）となりました。

なお、前年同期は不動産投資に係る一時的な収入を売上高に計上したことから税金等調整前四半期純利益が増加したことを大きな理由とし、対前年同期比は減少しております。

〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動によって使用した資金は、有形固定資産の取得による支出1百万円等により、4百万円（前年同期は4千1百万円の支出）となりました。

〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動によって使用した資金は、長期借入金の返済による支出3千5百万円、リース債務の返済による支出9百万円等があり、4千4百万円（前年同期は4千5百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期におきましては、映画事業において、映画興行収入が当初の予想に比べ減少となりセグメント損失を計上したものの、他のセグメントは概ね見込み通りの業績となり、また、自動車教習事業部門においては販売費および一般管理費の減少等により前年同期に比べ営業利益が増加したことで、グループ全体としては当初の第2四半期連結業績予想に示した営業利益を確保することが出来ました。しかしながら今後、映画事業においては引き続き映画興行収入の見通しが不透明なことや、不動産事業部門においては主要テナントビルにおける設備更新工事に係る修繕費等の発生が予想されることもあり、それらが今後の収益へ与える影響を現在精査中であり、従いまして、現時点におきましては、2019年5月13日に公表した2020年3月期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 740,167 | 697,345 |
| 売掛金 | 41,793 | 47,977 |
| たな卸資産 | 1,100 | 3,140 |
| その他 | 45,723 | 60,152 |
| 貸倒引当金 | △241 | △282 |
| 流動資産合計 | 828,544 | 808,333 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 899,929 | 863,539 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 21,751 | 16,069 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 23,895 | 21,466 |
| 土地 | 3,904,167 | 3,904,167 |
| リース資産（純額） | 50,725 | 41,701 |
| 有形固定資産合計 | 4,900,469 | 4,846,944 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 67,260 | 67,260 |
| その他 | 12,581 | 12,504 |
| 無形固定資産合計 | 79,841 | 79,764 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 473,240 | 481,430 |
| 繰延税金資産 | 52,821 | 54,819 |
| 敷金及び保証金 | 88,646 | 88,646 |
| その他 | 46,663 | 48,826 |
| 貸倒引当金 | △3,795 | △3,675 |
| 投資その他の資産合計 | 657,575 | 670,047 |
| 固定資産合計 | 5,637,886 | 5,596,757 |
| 資産合計 | 6,466,430 | 6,405,090 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 56,607 | 72,804 |
| 短期借入金 | 66,348 | 66,348 |
| リース債務 | 17,554 | 16,676 |
| 未払法人税等 | 48,418 | 16,165 |
| 賞与引当金 | 12,901 | 15,118 |
| その他 | 520,869 | 493,522 |
| 流動負債合計 | 722,699 | 680,635 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 145,327 | 110,213 |
| リース債務 | 33,171 | 25,025 |
| 退職給付に係る負債 | 93,289 | 95,984 |
| 役員退職慰労引当金 | 8,906 | 8,906 |
| 長期預り敷金 | 619,064 | 619,084 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,082,196 | 1,082,196 |
| その他 | 8,139 | 8,213 |
| 固定負債合計 | 1,990,094 | 1,949,623 |
| 負債合計 | 2,712,793 | 2,630,258 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,004,500 | 1,004,500 |
| 利益剰余金 | 303,719 | 325,120 |
| 自己株式 | △8,549 | △8,561 |
| 株主資本合計 | 1,299,670 | 1,321,059 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,883 | 1,688 |
| 土地再評価差額金 | 2,452,083 | 2,452,083 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,453,967 | 2,453,772 |
| 純資産合計 | 3,753,637 | 3,774,831 |
| 負債純資産合計 | 6,466,430 | 6,405,090 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 957,086 | 786,829 |
| 売上原価 | 451,734 | 435,685 |
| 売上総利益 | 505,351 | 351,143 |
| 販売費及び一般管理費 | 345,925 | 335,851 |
| 営業利益 | 159,425 | 15,292 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 2,278 | 2,173 |
| 持分法による投資利益 | 11,716 | 12,932 |
| 還付消費税等 | — | 7,147 |
| その他 | 1,054 | 372 |
| 営業外収益合計 | 15,049 | 22,625 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,053 | 782 |
| その他 | 1,677 | 715 |
| 営業外費用合計 | 2,730 | 1,497 |
| 経常利益 | 171,745 | 36,420 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | — | 4,400 |
| 特別損失合計 | — | 4,400 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 171,745 | 32,020 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 48,090 | 12,531 |
| 法人税等調整額 | 2,507 | △1,912 |
| 法人税等合計 | 50,598 | 10,618 |
| 四半期純利益 | 121,147 | 21,401 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 121,147 | 21,401 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 121,147 | 21,401 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6 | △195 |
| その他の包括利益合計 | △6 | △195 |
| 四半期包括利益 | 121,140 | 21,206 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 121,140 | 21,206 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 171,745 | 32,020 |
| 減価償却費 | 54,906 | 55,695 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 241 | △78 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | — | 4,400 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,278 | △2,173 |
| 支払利息 | 1,053 | 782 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △11,716 | △12,932 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △5,489 | △6,183 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,933 | △2,039 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 5,625 | 16,197 |
| その他 | △42,706 | △36,710 |
| 小計 | 169,447 | 48,978 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,278 | 2,173 |
| 利息の支払額 | △1,109 | △842 |
| 法人税等の支払額 | △4,618 | △44,784 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 165,998 | 5,523 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △40,563 | △1,060 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △1,033 |
| その他 | △816 | △2,101 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △41,379 | △4,195 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △33,174 | △35,114 |
| リース債務の返済による支出 | △12,220 | △9,023 |
| 自己株式の取得による支出 | △97 | △12 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △45,491 | △44,149 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 79,126 | △42,821 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 652,699 | 740,167 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 731,826 | 697,345 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 |
|-------------------|---------|---------|---------|--------|---------|-------|---------|
| | 映画事業 | 不動産事業 | 自動車教習事業 | 商事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 305,498 | 436,945 | 167,775 | 42,625 | 952,844 | 4,242 | 957,086 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 35,208 | — | — | 35,208 | — | 35,208 |
| 計 | 305,498 | 472,153 | 167,775 | 42,625 | 988,052 | 4,242 | 992,295 |
| セグメント利益又は損失(△) | △32,460 | 327,493 | 14,320 | 3,990 | 313,345 | 1,538 | 314,883 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 313,345 |
| 「その他」の区分の利益 | 1,538 |
| セグメント間取引消去 | △266 |
| 全社費用(注) | △155,191 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 159,425 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 |
|-------------------|---------|---------|---------|--------|---------|-------|---------|
| | 映画事業 | 不動産事業 | 自動車教習事業 | 商事事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 303,889 | 286,557 | 154,024 | 38,473 | 782,945 | 3,884 | 786,829 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 13 | 35,208 | — | — | 35,221 | — | 35,221 |
| 計 | 303,903 | 321,766 | 154,024 | 38,473 | 818,166 | 3,884 | 822,050 |
| セグメント利益又は損失(△) | △11,058 | 169,543 | 25,397 | 3,800 | 187,683 | 1,235 | 188,918 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、版權事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 187,683 |
| 「その他」の区分の利益 | 1,235 |
| セグメント間取引消去 | △39 |
| 全社費用(注) | △173,586 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 15,292 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。